



NEWS LETTER vol. 24



KPIについて

今年度の事務局体制について

お知らせ

KPIは4月から新体制となり、新たなメンバーを迎えました。まず、川勝健志准教授が1年間の米国ポートランドでの在外研究を終えて復帰しました。また、KPIセミナー等でかねてから関わりのある生命環境科学研究科の宮藤久士（みやふじひさし）教授がメンバーに加わります！事務局長には菱木智一准教授の任期が終了し、後任として勝山享（かつやまとおる）准教授が着任しました。さらに、事務局には鈴木暁子（すずきあきこ）首席研究員、河西聖子（かわにしせいこ）主任研究員、長谷川里奈（はせがわりな）研究員が加わりました。体制は下記のとおりです。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

青山 公三（センター長）、小沢 修司（副学長・公共政策学部教授）、宮藤 久士（生命環境科学研究科教授）、勝山 享（事務局長・公共政策学部准教授）、川勝 健志（同准教授）、杉岡 秀紀（同講師）、鈴木 暁子（首席研究員）、河西 聖子（主任研究員）、長谷川 里奈（研究員）、永田 恵理子（嘱託研究員）

連続自治体特別企画セミナー (KPIセミナー) 年間計画

第1回 6月23日（木）

16:30～18:30

*初回のみ例外的な時間帯となります。

今年度も原則木曜日開催、時間帯は15:00～17:15で予定しております。

詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご案内いたします。

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

センター長青山よりご挨拶

KPIは今年の9月で7年目を迎えます。7年目を迎える前に「事務局体制」の充実が図られたのはKPIにとって非常に嬉しいことです。いやむしろやっとシンクタンクとしての「研究体制Team KPI」がスタートできたと言うべきで、身の引き締まる思いがします。KPI設立の2009年には、府の派遣教員であった数中氏が孤軍奮闘しておられたことを考えると隔世の感があります。前センター長の小沢副学長の弁を借りれば、「史上最強メンバー」です。それは単に人数が増えただけではありません。それぞれのメンバーが本当にユニークで素晴らしい仲間達です。体制充実が図られたのは期待も大きいわけですが、それに押しつぶされないよう力を合わせて「良い」仕事をしていきたいと思えます。



これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー (KPIセミナー)

お知らせ

今年度は、「地域創生とサステナビリティ（持続可能性）」をテーマに、連続セミナーを開催していく予定です！第1回目は、女性活躍を取り上げます。

第1回セミナーのご案内

「女性活躍は誰のため？何のため？～地域を元気にする仕事づくり・人づくり～」

6月23日（木）16:30～18:30

場所：京都府職員研修・研究支援センター

講師：藤野 敦子（ふじの あつこ）氏（京都産業大学経済学部教授）

兼子 佳恵（かねこ よしえ）氏（NPO法人石巻復興支援ネットワーク代表理事）

少子化対策、女性活躍推進法、ワーク・ライフ・バランス、女性の活躍による地域経済の活性化…。矢継ぎ早に対応が求められるなか、何から手を付けてよいのか分からないという自治体担当者の声も少なくありません。そこで、本セミナーでは、地域創生時代の女性活躍推進の“次の一歩”を考えるために、まず、フランスと日本で人口学や家族政策を研究してきた京都産業大学の藤野敦子教授から、日本の少子化の要因や女性活躍と少子化の関係について細解いていただき、これからの女性活躍推進の方向性について考えます。さらに、東日本大震災後、特に若者の人口流出が続く宮城県石巻市で、女性や若者の社会参画の事業を行うNPO法人代表の兼子佳恵さんに、地域を元気にする仕事づくり・人づくりのコツについて実践者の立場からお話しいただき、みなさんと意見を深めたいと思えます。

*詳細・お申込はKPIのホームページ・Facebookをご覧ください。

ブックレットNo.4を出版しました！

この度、ブックレット第4弾として、『地域創生の最前線～地方創生から地域創生へ～』（公人の友社）を刊行いたしました。京都府立大学生協や書店、インターネットでお買い求めいただけます。ぜひ一度手に取ってご覧ください。

※KPIセミナー時にも、受付にて見本をご覧ください。

お知らせ



*** 目次 ***

- 第1部 地域創生と人口減少（講演・対談編）
山田啓二（京都府知事）× 増田寛也（京都府立大学客員教授・元総務大臣）
- 第2部 地域創生の最前線（事例編）
- 第3部 地域創生に取り組む市町村（調査編）

ACTR 平成27年度ACTRの成果について

報告

KPIでは平成27年度ACTRとして次の3テーマについて調査研究を行いました。研究成果内容は後日ウェブサイトにて掲載いたしますので、是非ご覧ください。

- ①「舞鶴市における今後の地域コミュニティのあり方に関する調査研究」（舞鶴市）
- ②「地域の絆づくりのための地域資源発掘・整理と町民ワークショップによる学ぶ場の創出」（久御山町）
- ③「歴史遺産を活用した観光振興を図る為の提案・観光による商業振興と町の活性化」（大山崎町）

事務局に新しく加わるメンバーの紹介

お知らせ

勝山 享 事務局長/京都府立大学 公共政策学部 准教授

この度、京都政策研究センターでお世話になることになりました勝山と申します。京都府内の各地域における諸課題については、その地域に住まう人々だけでは解決が困難なことも多いと思います。このセンターはそうした課題に関する調査・研究・政策提言や、地域に関わる人材の育成・支援を行うことで解決に向けた道筋を作る役割を担っていると感じています。私もその一員として、これまでの行政経験をいかして地域の諸課題の解決につながるよう、努めてまいりたいと思います。

鈴木 暁子 上席研究員

多文化共生の市民活動の実践者として、民間非営利団体の研究員として、20年近く、ダイバーシティを軸にした地域社会づくりに関わってきました。2013年度より2年半、京都府立大学男女共同参画推進室のコーディネーターとして女性研究者支援等に関わり、本年度からKPIのスタッフの一員となりました。地域社会と、教育現場・研究現場をつなぎ、KPIらしい新しい関係を紡いでいきたいと考えています。よろしくお願ひします。

河西 聖子 主任研究員

4月から事務局に加わることになりました河西聖子と申します。これまでは16年間、精華町立図書館で勤務していました。精華町は京都府の南西端に位置し、農業、そして学研都市の中心地として発展してきた町です。その町で「図書館はまちづくりの中心」という思いで、日々利用者の方に資料を手渡してきました。これからは資料を越えて、府内市町村や、参加者の方の課題解決に役立つような研究やセミナーなどに関わり、地域を元気にしていきたいと思っています。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

長谷川 里奈 研究員

この4月からKPIメンバーの一員となりました長谷川里奈です。平成26～27年度の2年間、京都府立大学男女共同参画推進室の特別研究補助員として、女性研究者支援や若手研究者支援事業に携わっていました。私自身、京都府立大学公共政策学研究科修士課程の修士生であり、府立大学は6年目になります。これまでの学びと経験を活かして、KPIの研究活動・セミナー開催等に取り組み、活動内容の情報発信を行っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

★宮藤先生には、次回のニュースレターで一言いただきます！

KPIリレーコラム

今回は、新KPI事務局長の勝山先生が登場です！

「根付（ねつけ）って知ってます？」



（勝山先生作。クリップは大きさを比較のために置きました。）

京都府立大学 公共政策学部公共政策学科准教授

勝山 享

着物が当たり前であった江戸時代、印籠や煙草入れなどの「提げ物」を紐で着物の帯に吊す際に、帯から抜け落ちないように留具として使われていたものが「根付」です。現代でいう携帯電話のストラップやキーホルダーのようなものをイメージしていただくとわかりやすいですね。

その「根付」は、象牙や鹿の角、陶器、金属などを素材として、精巧な彫刻が施されていることから、その芸術性は海外でも評価され、日本だけでなく、世界の博物館や美術館でも目にすることができます。

着物を着る機会が減り、印籠や煙草入れなどを持たなくなった現代においても、根付作家の方達はその伝統的な技法を駆使しつつ、現代的なテーマやモチーフ、素材等を加えて日々新しい作品作りに励んでおられます。

私も見様見真似で根付づくりをしていますが、見つめる方向を変えると違う形が見えてきます。そうして全体のバランスを見つつ、彫りを進めていくことで、一つの作品が出来上がります。政策づくりもその地域や対象によって資源も違えば、手法も変わってきますよね。京都政策研究センターでも絶えず新しい視点を持って取り組みたいと思います。